



深山たかし

発行元：深山たかし後援会
上尾市大字上1774-7
048(776)0575
fukayama-sov@jcom.home.ne.jp
ホームページは検索サイト
”深山たかし”で閲覧できます。

議会レポート

情報公開について

緊急時の情報伝達

多くの皆様より「三月十一日の東関東大震災防災行政無線の放送が聞き取り難かった」と伺いました。

私は、平成十六年六月に防災行政無線とコミュニティFM・平成二十一年六月に防災ラジオについて質問を行いました。

当時の答弁で、防災行政無線の弱点も認識され、音量調整などを実施されているとの答えでした。

コミュニティFMは、導入費・運営費の面で課題も多く、周波数の割り当てにも問題点があること。防災ラジオは、有効な情

報源ではあるが、費用の関係で全戸無償配布が難しいとのことでした。

今回、防災ラジオの有償配布を提案したところ、区長会等の意見を聞き、検討したいとの回答でした。

緊急時の行政からの情報は、市民にとって命に直結します。情報伝達の方法を複数整備しておく必要があります。(ツイッター導入も提案しました。)



防災行政無線(子機)

メールマガジン

四月から、市役所からの情報をパソコンや携帯電話のメールで受け取ることが出来るようになりました。(登録が必要です。)

送信の内容は、

・①安心・安全メール

児童生徒に関わる不審者

情報など(防犯速報)

全般的な防犯・防災情報や

警報など。

光化学スモッグ注意報。

②防災無線情報

防災行政無線の放送内容。

ただし、放送内容は要約。

・休日や夜間、火災発生時

などは配信が遅れる場合があります。

ただし、児童の

登下校時間のお知らせ等定期的なものは配信しません。

③火災情報

市内で発生した火災に関する情報。

※夜間を含め、原則24時間

配信します。

④あげお“ほっと”便

上尾市からのお知らせや

市政の最新情報。

上尾市のホームページの中に登録画面があります。
<http://www.city.ago.lg.jp/maimaga/>を開き、メールマガジンの新規登録(PCもしくは携帯)を選んでクリックすると、メールマガジン新規登録の画面が現れます。



メールマガジン登録画面

メールマガジン登録方法

メルマガの選択にある内容の欲しい情報を選択し、画面下にあるボタンで次画面へ、画面に従い、送信して貰いたいメールアドレス等を入力確定すると、アドレス宛に確認のメールが届きます。最後に届いたメールの内容を確認し、確認ボタンを押せば、完了です。(パケット代等の費用は、各自負担となります。)

節電対策について

市の対応策とは

上尾市では、四月二十五日に災害対策本部節電委員会を立ち上げ、クールビズ期間の延長、庁舎など公共施設での二十五%を目標とした照明の間引き、給湯室内の電気湯沸かし器の使用中止、庁舎及び出張所の日曜開庁休止などを実施しています。

また、市民の皆さんへ広報にて特集し「節電のお願い」を「広報あげお」の七月号にて行います。

特に、情報提供に加え、チェックシート形式を取り入れて前年同月の使用電力十五%カットが可能かどうか自分で調べられる提案もあります。

熱中症に注意し、ピーク電力カットにご協力ください。

本庁舎の土日開庁

三月議会で提案した本庁舎の土日開庁問題に進展がありました。

七月から一〇月末日まで日曜を閉庁にすることになりました。

今回の理由は、経費節減よりも、節電に重点を置いた措置になりました。市民に受け入れられる事が前提になります。継続実施の可能性もあります。

市民サービスを維持するために、今まで、当たり前と思われていた事務事業も始めから見直しを行えば、財源を捻出することは、可能だと信じています。

市民の皆さんが望む全てのことを一度に実現することは不可能です。優先順位をつけて少しずつ前に進んで行きたいと考えています。

図書館行政について

過去に何回となく質問をしています。全く進んでいません。

今回も、上尾市にふさわしい図書館とは何かを尋ねましたが、答えが「べき論」に終始し具体的な整備計画がありませんでした。

本棚に並べられない本を閉架と言ひ、保管庫に収納してありますが、足りずに平方面積の余裕教室二部屋に移動。それでも足りずに平方北小学校の余裕教室二部屋も使っています。

この現状は普通ではありません。

周辺の自治体を見ても、



S56年に建設された図書館本館本棚や閲覧スペースが非常に狭い

意識の違いが、鮮明です。

図書館は、上下水道のよいうなライフラインと違い整備を我慢することができず施設ですが、私は、図書館は文化レベルのバロメーターだと思っています。

子ども達の教育や社会教育に熱心な自治体は、市民も意識の高い方が多い傾向にあります。

私が、図書館整備を訴え続ける理由として、図書館には、自治体の街づくりへの考えが色濃く反映されます。

新しい図書館の建設には、多額予算と相当な時間・労力が必要ですが、将来の子ども達の為にも、素晴らしい図書館にしたいですね。



図書館として中央図書館(人口は上尾市の半分以下)だった東京都武蔵野市(人口は上尾市の半分以下)が主流となっていました

編集後記

今回、「上尾市は宣伝が下手だ」と指摘しました。新聞の埼玉紙面を見ても上尾市に関する記事が非常に少ないのに気がつきました。

クールビズの実施や災害ボランティアバスの募集などは、さいたま市よりも遙かに早い時期で決まっていたのですが、先を越されてしまいました。

良いことを実施してもニュースとして取り上げられない事で、上尾市民にも分からないのが、非常に残念です。広報あげおなどは、編集準備期間が長く、ニュースと言えない記事が多いのが現状です。

上尾市は、メディアへの露出度が余りにも少なすぎます。毎月定期的に記者会見を開く等工夫して欲しい。上尾市の応援団の一人として歯がゆい気持ちで一杯です。何とかしなくてはなりませんね。